

石川県立小松工業高等学校 機械システム科

学校基本情報（令和7年5月1日現在）

設置学科	機械システム科	在籍生徒数（全校生徒数）	209人（596人）
住所	〒923-8567 石川県小松市打越町丙67		
電話	TEL 0761-22-5481		
○特色ある教科や授業			
1年 実習を通して機械技術の知識や安全について学習する。			
2年 図面の読み取りや機械加工について専門的に学習する。職場実習（インターシップ）により生産現場を体験する。			
3年 専門教科の学習や実習に加え、機械加工技術について専門技術者に意見を聞きアドバイスを受けて学習する。 長期型企業実習（デュアルシステム）に参加し、ものづくりに関わる職業観を育成する。			
○学校行事			
（1学期）遠足、新体力テスト、壮行式（総体・総文・野球部等）、工場見学、インターシップⅠ期、球技大会 （2学期）体育祭、マラソン大会、修学旅行（2年）、工業祭、球技大会、インターシップⅡ期 （3学期）スキー実習（1年）、課題研究発表会、球技大会			
○部活動			
（運動部）ハンドボール・バレーボール・テニス・ソフトテニス・ウエイトリフティング・野球・ボウリング・山岳 陸上競技・少林寺拳法・バスケットボール・バドミントン・弓道・柔道・剣道・サッカー・卓球 （文化部）将棋・吹奏楽・新聞・美術・茶道・インターアクト・放送 （工業部）機械研究・電気情報・建設・材料化学			
○進路状況			
（令和6年度卒業生の主な進路先） 就職：(株)石野製作所、(株)板尾鉄工所、エヌジーケー・セラミックデバイス(株)、加賀東芝エレクトロニクス(株)、(株)金沢村田製作所、(株)共和工業所、クマリフト(株)、小松ウオール工業(株)、コマツ産機(株)、(株)小松製作所 栗津工場、(株)小松電業所、コマツ物流(株)中部物流部、(株)小松村田製作所、(株)小松村田製作所、(株)コマテック、コマニー(株)、ジェイ・バス(株)本社 小松工場、(有)シャンパトラ、(株)大晃重設、大同工業(株)、(株)武田工業所、(株)東振精機トヨタエルアンドエフ石川(株)、トヨタ自動車(株)、長津工業(株)、根上工業(株)、パナソニックコネクト(株)、三菱重工業(株)、村田機械(株)加賀工場、(株)室戸鉄工所、加賀市消防、小松市消防 進学：金沢工業大学、金沢星稜大学、北陸大学、トヨタ名古屋自動車大学校、金沢科学技術大学校			

3 つ の 方 針

○このような生徒を求めています（生徒募集方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに興味関心があり、意欲的に学習に取り組むことのできる生徒。 ・規則正しい生活を送り、自らの健康を管理することのできる生徒。 ・中学校時代に部活動や学校行事に熱心に取り組んだ生徒。
○このような学びを行います（教育課程編成・実施方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・全科目のうち専門科目の割合は、1年（24％）2年（55％）3年（62％）に設定。ただし、進学希望者は共通教科の科目選択により、2年（41％）3年（48％）となる。 ・専門科目の座学及び実習を通して、専門分野に関する基礎的な知識・技能を習得する。 ・全学年を通して「探究活動プロジェクト」を実施し、思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学びに向かう力、人間性等の涵養を図る。 ・企業見学・企業実習等の体験的な活動や専門の資格・検定試験の取得に積極的に取り組む。
○卒業までにこのような生徒を育てます（生徒育成方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・専門技術の錬磨を図り、積極的に学習に取り組み、諦めずに学習する態度を身に付けた生徒。 ・協働的な学習活動の中で、探究心を持ち、創意工夫して、自分の考えを発言できる生徒。 ・自ら目標を設定したり、問題を発見したりし、目標の達成や問題の解決に向けて、粘り強く取り組むことのできる生徒。

石川県立小松工業高等学校 電気科

学校基本情報（令和7年5月1日現在）

設置学科	電気科	在籍生徒数（全校生徒数）	188人（596人）
住所	〒923-8567 石川県小松市打越町丙67		
電話	TEL 0761-22-5481		
○特色ある教科や授業			
1～2年「電気回路」電気に関する基礎的な知識と計算方法について学習する。			
1～3年「実習」電気計測・電子計測・電気工事・電子工作・プログラミング等を実習する。			
3年「課題研究」電気・電子・情報に関する課題設定から課題解決に至るまでの協働による探究活動を行う。			
○学校行事			
（1学期）遠足、新体力テスト、壮行式（総体・総文・野球部等）、工場見学、インターシップⅠ期、球技大会			
（2学期）体育祭、マラソン大会、修学旅行（2年）、工業祭、球技大会、インターシップⅡ期			
（3学期）スキー実習（1年）、課題研究発表会、球技大会			
○部活動			
（運動部）ハンドボール・バレーボール・テニス・ソフトテニス・ウエイトリフティング・野球・ボウリング・山岳 陸上競技・少林寺拳法・バスケットボール・バドミントン・弓道・柔道・剣道・サッカー・卓球			
（文化部）将棋・吹奏楽・新聞・美術・茶道・インターアクト・放送			
（工業部）機械研究・電気情報・建設・材料化学			
○進路状況			
（令和6年度卒業生の主な進路先）			
就職：秋田電気工事㈱、イオンディライト㈱、北陸信越支社、㈱エージグループ、エヌジーケー・セラミックデバイス ㈱、オムロンフィールドエンジニアリング㈱、㈱金沢村田製作所、技研㈱、㈱小松村田製作所、桜田電気工事 ㈱、CKD㈱、㈱ソディック 加賀事業所、大和紡績㈱美川工場、竹内電気工事㈱、東レエンジニアリング西日本 ㈱石川事業所、㈱トッパンエレクトロニクスプロダクツ、西日本旅客鉄道㈱、パナソニックコネクスト㈱プロセ スオートメーション事業部（加賀拠点）、㈱ほくつう、北電テクノサービス㈱、㈱北陸エレテック、北陸電気工 事㈱、北陸電気システム㈱、北陸電気保安協会、北陸電力㈱、三菱ケミカル㈱中日本事業所、山一精工㈱、山口 電設㈱、米沢電気工事㈱、ライオンパワー㈱			
進学：金沢工業大学、近畿職業能力開発大学校、金城大学、代々木アニメーション学院金沢校			

3 つ の 方 針

○このような生徒を求めています（生徒募集方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに興味関心があり、意欲的に学習に取り組むことのできる生徒。 ・規則正しい生活を送り、自らの健康を管理することのできる生徒。 ・中学校時代に部活動や学校行事に熱心に取り組んだ生徒。
○このような学びを行います（教育課程編成・実施方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・全科目のうち専門科目の割合は、1年（24％）2年（55％）3年（62％）に設定。 ただし、進学希望者は共通教科の科目選択により、2年（41％）3年（48％）となる。 ・専門科目の座学及び実習を通して、専門分野に関する基礎的な知識・技能を習得する。 ・全学年を通して「探究活動プロジェクト」を実施し、思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学びに向かう力、人間性等の涵養を図る。 ・企業見学・企業実習等の体験的な活動や専門の資格・検定試験の取得に積極的に取り組む。
○卒業までにこのような生徒を育てます（生徒育成方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・専門技術の錬磨を図り、積極的に学習に取り組み、諦めずに学習する態度を身に付けた生徒。 ・協働的な学習活動の中で、探究心を持ち、創意工夫して、自分の考えを発言できる生徒。 ・自ら目標を設定したり、問題を発見したりし、目標の達成や問題の解決に向けて、粘り強く取り組むことができる生徒。

石川県立小松工業高等学校 建設科

学校基本情報（令和7年5月1日現在）

設置学科	建設科	在籍生徒数（全校生徒数）	100人（596人）
住所	〒923-8567 石川県小松市打越町丙67		
電話	TEL 0761-22-5481		
○特色ある教科や授業			
1年 建設業に関する基礎的な知識と技術について学習する。建設業協会と連携して学習する。			
2年 建築・土木の各専門教科を学習する。次年度建築コース土木コースに分かれる。地域建設業の企業と連携し体験学習する。			
3年 建築・土木の先端技術である3D設計データの作成運用を協働して総合的に学習する。			
○学校行事			
（1学期）遠足、新体力テスト、壮行式（総体・総文・野球部等）、工場見学、インターシップⅠ期、球技大会			
（2学期）体育祭、マラソン大会、修学旅行（2年）、工業祭、球技大会、インターシップⅡ期			
（3学期）スキー実習（1年）、課題研究発表会、球技大会			
○部活動			
（運動部）ハンドボール・バレーボール・テニス・ソフトテニス・ウエイトリフティング・野球・ボウリング・山岳陸上競技・少林寺拳法・バスケットボール・バドミントン・弓道・柔道・剣道・サッカー・卓球			
（文化部）将棋・吹奏楽・新聞・美術・茶道・インターアクト・放送			
（工業部）機械研究・電気情報・建設・材料化学			
○進路状況			
（令和6年度卒業生の主な進路先）			
就職：石黒建設(株) 榊江口組 加越建設(株) 北川ヒューテック(株) 太陽工業(株) 榊タッセイ 榊寺田鉄工建設 中島建設(株) 白山道路(株) 榊宝来社 榊北都鉄工 榊丸西組 榊山本製材 榊吉光組			
進学：福井工業大学 金沢科学技術高等学校			

3 つ の 方 針

○このような生徒を求めています（生徒募集方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに興味関心があり、意欲的に学習に取り組むことのできる生徒。 ・規則正しい生活を送り、自らの健康を管理することのできる生徒。 ・中学校時代に部活動や学校行事に熱心に取り組んだ生徒。
○このような学びを行います（教育課程編成・実施方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・全科目のうち専門科目の割合は、1年（24％）2年（55％）3年（62％）に設定。ただし、進学希望者は共通教科の科目選択により、2年（41％）3年（48％）となる。 ・専門科目の座学及び実習を通して、専門分野に関する基礎的な知識・技能を習得する。 ・全学年を通して「探究活動プロジェクト」を実施し、思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学びに向かう力、人間性等の涵養を図る。 ・企業見学・企業実習等の体験的な活動や専門の資格・検定試験の取得に積極的に取り組む。
○卒業までにこのような生徒を育てます（生徒育成方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・専門技術の錬磨を図り、積極的に学習に取り組み、諦めずに学習する態度を身に付けた生徒。 ・協働的な学習活動の中で、探究心を持ち、創意工夫して、自分の考えを発言できる生徒。 ・自ら目標を設定したり、問題を発見したりし、目標の達成や問題の解決に向けて、粘り強く取り組むことができる生徒。

石川県立小松工業高等学校 材料化学科

学校基本情報（令和7年5月1日現在）

設置学科	材料化学科	在籍生徒数（全校生徒数）	99人（596人）
住所	〒923-8567 石川県小松市打越町丙67		
電話	TEL 0761-22-5481		
○特色ある教科や授業			
1～3年「工業化学」：3年間を通して、化学工業に関する基礎的な知識と技術について学習する。 2～3年「実習」：有機合成、成型加工、環境分析、機器分析、プラント、3DCAD等を実習する。 3年「課題研究」：材料化学に関する課題設定から課題解決に至るまでの協働による探究活動を行う。			
○学校行事			
（1学期）遠足、新体力テスト、壮行式（総体・総文・野球部等）、工場見学、インターシップⅠ期、球技大会 （2学期）体育祭、マラソン大会、修学旅行（2年）、工業祭、球技大会、インターシップⅡ期 （3学期）スキー実習（1年）、課題研究発表会、球技大会			
○部活動			
（運動部）ハンドボール・バレーボール・テニス・ソフトテニス・ウエイトリフティング・野球・ボウリング・山岳 陸上競技・少林寺拳法・バスケットボール・バドミントン・弓道・柔道・剣道・サッカー・卓球 （文化部）将棋・吹奏楽・新聞・美術・茶道・インターアクト・放送 （工業部）機械研究・電気情報・建設・材料化学			
○進路状況			
（令和6年度卒業生の主な進路先） 就職：DIC㈱、医療法人社団さくら会森田病院、㈱明石合銅、㈱オークラニッコーホテルマネジメント金沢 ㈱オンワード技研、㈱ビーケープラス、㈱ファインケム、㈱小松製作所、㈱石野製作所、㈱東振テクニカル、 ㈱東振精機、高松油脂㈱北陸工場、山一精工㈱、小松マテール㈱、小太郎漢方製薬㈱、伸晃化学㈱、 大阪有機化学工業㈱、竹田東京プロセスサービス㈱、東レ㈱、福井鋳螺㈱ 進学：金沢学院大学、加賀看護学校			

3 つ の 方 針

○このような生徒を求めています（生徒募集方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに興味関心があり、意欲的に学習に取り組むことのできる生徒。 ・規則正しい生活を送り、自らの健康を管理することのできる生徒。 ・中学校時代に部活動や学校行事に熱心に取り組んだ生徒。
○このような学びを行います（教育課程編成・実施方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・全科目のうち専門科目の割合は、1年（24％）2年（55％）3年（62％）に設定。ただし、進学希望者は共通教科の科目選択により、2年（41％）3年（48％）となる。 ・専門科目の座学及び実習を通して、専門分野に関する基礎的な知識・技能を習得する。 ・全学年を通して「探究活動プロジェクト」を実施し、思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学びに向かう力、人間性等の涵養を図る。 ・企業見学・企業実習等の体験的な活動や専門の資格・検定試験の取得に積極的に取り組む。
○卒業までにこのような生徒を育てます（生徒育成方針）
<ul style="list-style-type: none"> ・専門技術の錬磨を図り、積極的に学習に取り組み、諦めずに学習する態度を身に付けた生徒。 ・協働的な学習活動の中で、探究心を持ち、創意工夫して、自分の考えを発言できる生徒。 ・自ら目標を設定したり、問題を発見したりし、目標の達成や問題の解決に向けて、粘り強く取り組むことができる生徒。